**思いもかけず、遠来の友と会う**

**山形は、昭和以前から謡曲が盛んで、市内では特に観世流梅若の先生方が多く、**

**隆盛を極めておりました。佐藤章夫君や私もその一つの会派である緑鳳会に属して**

**40年以上稽古に励んでおります。この度、その緑鳳会の重鎮「中村順治氏」の**

**葬儀が2月28日、上山市の西光寺で執り行われ、我々社中有志で弔謡として**

**「隅田川」の一節を奉じました。**

**その折、思いもかけず、「中村弘君」と再会したのです。**

**聞けば、中村君は故順治氏の義弟にあたり、遠く三重県から葬儀に参列したのだそうです。**

**彼とは我々最後の山東まつり（喜寿の祝い）以来の再会でしたが、黒服姿で同級の三人が**

**相まみえたのは、謡曲をやっていたからこそと思い、縁というものは何処に転がっている**

**か分からないものだなと感じること大でありました。**

**式後、八十歳を過ぎた者同志、これから元気で会える機会も数多いとは限らないので、**

**お互いの無事を願いながら寺を後にしました。**

**2024(R6).2.28（松田博之記）**

**左より　松田、佐藤君、中村君（上山市、西光寺にて）**